

成長に優れたスギの活用で 下刈りを低コスト化

背景

林業経営の低コスト化には、労働負担の大きい下刈り作業の削減が必要ですが、林地の多様な植物に対応した下刈り要否の判断基準がないことが課題でした。

成果の内容

- (1) 林地の植生に応じた下刈り要否の判断基準
- (2) 成長に優れたスギの活用による下刈り回数削減の2つを明らかにしました。

(1) 林地の植生に応じた下刈り要否の判断基準

林内の多くのスギが基準の樹高に達すると、毎年の下刈りは不要。



〔植生：ススキ類型〕
スギ樹高2.2m以上



〔植生：その他類型〕
スギ樹高1.3m以上

(2) 成長に優れたスギの活用による下刈り回数削減

在来品種よりも成長が旺盛で、下刈りを1回削減することが可能

成長に優れたスギ



在来品種

【研究者のコメント】

○夏場の炎天下に行う作業の負担が軽減されることで、持続可能な林業の実現を願っています。

(森林林業部 森林管理チーム)

